

EPS

EPS(A種ビーズ法発泡ポリスチレン)とは・・・

● 素材

石油を原料とする石油ポリスチレン (PS) から作られた小さな粒状の原料ビーズを発泡して作ります。

● 歴史

1951年にドイツで本格生産され日本では1953年から輸入及び製造が開始し1959年から原料ビーズも国産化されました。

● 用途

優れた特性を活かし生鮮食品の輸送箱、家電の緩衝剤、建築用断熱材などに使用されています。

● 燃焼生成物

魚箱や緩衝材として利用されている発泡スチロールの主成分は炭素と水素ですので完全延焼すれば炭酸ガス (CO₂) と水 (H₂O) になり、ダイオキシン等の有毒ガスは発生しません。但し、他素材と同様に酸素不足により不完全燃焼となった場合には黒煙 (スス) や一酸化炭素が発生します。

廃棄する際には市町村の分別基準に従って下さい。



JIS 規格

種類	A種ビーズ法ポリスチレンフォーム保温板 (EPS)					
JIS	A-9511					
主原料	ポリスチレン					
製造方法	主原料の発泡性ポリスチレンビーズを予備発泡させこれを型内に入れて発泡成形する。					
製品種類	特号	1号	2号	3号	4号	
密度	kg/m ³	27 ≤	30 ≤	25 ≤	20 ≤	15 ≤
熱伝導率	W/m·K	≤0.034	≤0.036	≤0.037	≤0.040	≤0.043
断熱区分	D	C			B	
圧縮強さ	N/cm ²	14 ≤	16 ≤	12 ≤	8 ≤	5 ≤
吸水量	g/100cm ³	≤1.0			≤1.5	
透湿係数 (25mm当り)	ng/m ² ·s·Pa	≤185	≤145	≤205	≤250	≤290
最高使用温度	℃	80				
厚み	mm	10~500				
ホルムアルデヒド放散区分	F☆☆☆☆					
施工に関する特徴	硬質であり施工方法によって厚みムラが生じる事はない。安定した断熱性能を確保できる。形状を合わせる為に現場にてカット(熱線やカッター)して納める事ができる。					